

「児童養護施設入所児童等調査の概要 (平成30年2月1日現在)」にみる社会的養護の状況に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 里親委託となった児童の委託経路をみると、「児童養護施設から」が最も多く、次いで「家庭から」、「乳児院から」の順となっている。
2. 児童自立支援施設における入所児童の就学状況をみると、「小学校高学年」が最も多く、次いで「小学校低学年」、「中学校」の順となっている。
3. 乳児院の入所児童のうち、被虐待経験のある児童が受けた虐待の種類をみると、「身体的虐待」が最も多く、次いで「心理的虐待」、「ネグレクト」の順となっている。
4. 児童養護施設の入所時の児童の保護者の状況をみると、「両親ともいない」が最も多い。
5. 母子生活支援施設への入所理由をみると、「配偶者からの暴力」が最も多い。

フリードマンらが行った実験に関する次の文中の に入る用語はどれか。

実験者は、「交通安全の市民会」の者と称して戸別訪問を行い、「『気をつけて運転しましょう』と下手な字で書かれた巨大な看板を玄関先に1, 2週間設置させてほしい」という大きな要請を行った。この要請のみを行う統制条件では、承諾率は16.7%であった。しかし、「『安全運転』と書かれた10センチ角のシールを窓か車に貼ってほしい」という小さな要請を行った後に、前述の大きな要請を行った条件では、承諾率は76.0%の高さであった。この結果が示す、人から承諾を引き出す技法を ・テクニックという。

1. フット・イン・ザ・ドア
2. ドア・イン・ザ・フェイス
3. セルフ・ハンディキャッピング
4. リスキー・シフト
5. ローボール

個人Aと個人Bの2人から成る経済を考える。図は、個人A、個人Bの公共財の限界便益曲線AA'、BB'と公共財の限界費用曲線を示している。公共財の最適供給量に関する次の文中のア～エに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

図 I

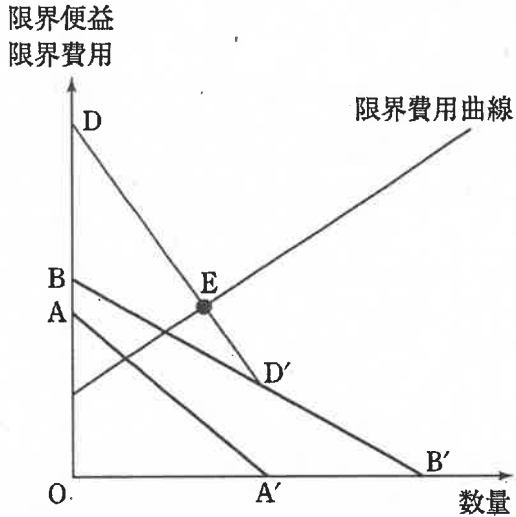
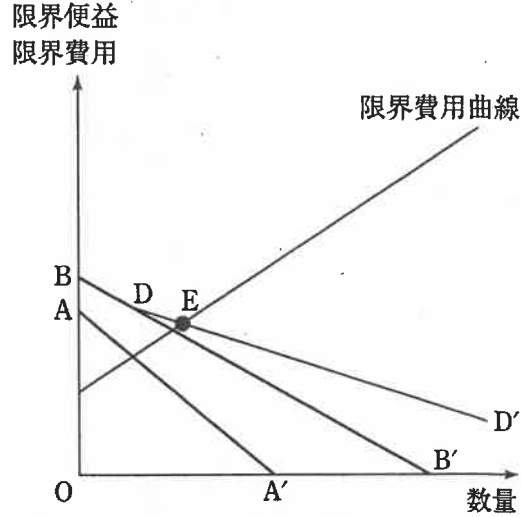


図 II



公共財の社会全体の限界便益曲線は、個人の限界便益曲線を [ア] 方向に足し合わせたものであるから、 [イ] の折れ線 [ウ] で示される。公共財の最適な供給量は、折れ線 [ウ] と限界費用曲線との交点 E で決まり、この条件は公共財についての [エ] 条件と呼ばれる。

- | | ア | イ | ウ | エ |
|----|----|------|--------|---------|
| 1. | 垂直 | 図 I | DD' B' | サミュエルソン |
| 2. | 垂直 | 図 I | DD' B' | ナッシュ均衡 |
| 3. | 垂直 | 図 II | BDD' | サミュエルソン |
| 4. | 水平 | 図 I | DD' B' | ナッシュ均衡 |
| 5. | 水平 | 図 II | BDD' | サミュエルソン |

正答番号 1